

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会

2011年度活動報告（案）（2010年11月～2011年11月）

1. 「記録する会」の現在

会報発送数：会員 269 部（昨年 270）、会員外：54 部（昨年 52 部）、新入会は 6 名、退会者が 6 名（死亡 2）

2. 活動の記録

<2010年>

11/23 総会（御殿山コミセン）、記念講演：十菱駿武さん

11/24 中央公園北ホールでの「ピースキャンドルのつどい」に参加協力

12/09 幹事会（御殿山コミセン）

12/22 病院の元看護婦さんだった前田マスヨさんを囲んでの会（主催女性史の会）

<2011年>

01/15、狛江公民館での講演。多摩地域の空襲と狛江の空襲

01/19 日赤にあった高射砲陣地について、日赤の高桑施設課長さんに聞く

01/15 中央公園内の雨水貯留槽工事で、西部公園緑地事務所と話し合い（事務局）

01/20 幹事会（本町コミセン）

02/09 会報 38 号発行

02/22 中央公園の雨水貯留浸透槽の設置工事で中島の遺構発掘見学

02/24 幹事会（本町コミセン）

03/02 本宿小の歴史の授業の一貫で空襲の話をする（島津、秋山）

03/05 立川飛行機の疎開先である七里岩地下壕の平和公園開所式に、メッセージを送る

03/08 本宿小合同授業で 40 分間、空襲、当時の暮らしなどを話す。

03/24 幹事会（本町コミセン） 武蔵野市平和事業委員会委員に、島津さんを推薦

04/21 幹事会（本町コミセン）

05/02 会報 39 号発行

05/20 幹事会（本町コミセン）

06/04 中島と武蔵野空襲のフィールドワーク（170 名以上参加）

06/24 幹事会（本町コミセン）

07/13 府立中野高等家政女学校の生徒の方の話し合い

07/21 幹事会（消費生活センタ）

08/05 会報 40 号発行

08/06、07 戦跡ネット全国シンポに参加（慶應、日吉）

08/08～21 パネル写真展示、市役所ロビー（8/8～12）、武蔵野プレイス（13～21）

08/25 幹事会（消費生活センタ）

08/27 武蔵野青年会議所主催の「むさしのまんなか夏祭り」で空襲の写真展

09/16 幹事会（消費生活センタ）

09/20 武蔵野市平和の日条例が武蔵野市議会で全会一致で可決
10/10 パネル作成作業を行い、約 20 枚のパネルを完成させる
10/20 幹事会（本町コミセン）
10/27 武蔵野 4 中で、「武蔵野の空襲」について平和授業
10/29 武蔵野 4 中記念祭で「中島飛行機武蔵工場と武蔵野の空襲」写真パネル展示。
11/01～30 パネル展示 武蔵野プレイス(01～10)、武蔵野市役所ロビー(14～24)、
コピス吉祥寺(25～30)
11/03 会報 41 号発行
11/09 西東京市中学校教育研究会、社会科部会で講演
11/13 「軍都立川フィールドワーク」(浅川地下壕の保存をすすめる会、山梨戦跡ネット
と共催)
11/20 三多摩平和交流会
11/23 武蔵野市平和の日イベント(羽田澄子、牛田守彦さんの講演)
11/24 武蔵野市の平和記念植樹
11/24 幹事会(本町コミセン)
12/04 「記録する会」10 周年記念講演と総会

3. 主な活動

①会報の発行

2011 年の会報発行は、38 号(2 月)、39 号(4 月)、40 号(7 月)、41 号(11 月)、
の 4 号で、年 4 回の目標を達成した。印刷、折り、製本、宛名貼り、封筒詰め、のり付け
などを 38 号、39 号までは、武蔵野市の市民協働サロンで行ったが、市民協働サロンの
機能縮小にともない、武蔵野プレイスでの印刷、製本になった。武蔵野プレイスでは、印
刷経費はサロンより大幅に高くなった。

前回の総会で提案があった会報の文字拡大を実施し、今までの 10.5 ポイントから 12
ポイントに変更した。読みやすいと、おおむね好評である。また印刷、製本、封筒詰めな
どの作業に会員の方の協力も得ている。

記事の内容としては、幹事原稿が多く、会員の方の原稿が少ない。会員の方の記事を
増やすことが必要。

②幹事会

幹事会は、主に第 3 木曜 5 時半から 8 時まで、吉祥寺本町コミセンの使用が多かった。
今期も毎月行った。内容はときどきのイベントへの対応、寄せられた情報の報告、「記録す
る会」のありかたなどの討議である。事務的な対応の他に、幹事が調べたり入手したりし
た戦争遺跡の研究結果の報告や、寄せられた DVD の上映も行った。そのような報告は会
員の方にも見ていただきたいので、会員の参加できる形態を検討したい。

③フィールドワーク

今期は 2 年ぶりとなる一般参加のフィールドワークを行った。市役所から中央公園、延
命寺、源正寺のコースであるが、中央公園の地下道があると思われる位置、延命寺の試運
転プロペラなどが新規になった。引き込み線址の説明板は残念ながら間に合わなかった。
朝日、毎日両紙が取り上げたこととも相まって、170 名という想定外の参加者が集まった

ため、資料不足、説明グループの分割など対応に追われた。複数グループへの対応、説明員の配置やハンドマイク増設など検討すべき事項が多い。このフィールドワークには、黒田貴子先生（会員）の保谷 4 中歴史部の生徒が多数参加。若い人へ語り継ぐことも実現できた。

また武蔵野市周辺以外のフィールドワークを行うことを今期の目標に挙げていたが、浅川地下壕の保存をすすめる会、山梨戦跡ネットとの共同主催で、軍都立川フィールドワークが実施できた。

④パネル展示

恒例であった、8 月の武蔵野市平和事業委員会に協力するパネル展示のほかに、武蔵野市が平和の日を制定したので、その関連イベントでの展示が増え、延べ一か月半におよんだ。また青年会議所のイベント、武蔵野 4 中記念祭、三多摩平和交流会などで 1 日だけの展示をおこなった。

また今までのパネルは黒の羅紗紙に、プリントした写真を貼って作成していたが、アルミ枠のケースに作り直した。説明文を充実させ、説明者がいなくても、ある程度理解ができるようにした。

⑤平和授業協力

武蔵野市の学校の平和授業に協力、本宿小学校 3 年生と武蔵野第 4 中学校 2 年生に中島飛行機の話や空襲の話をした。それぞれパネルを教室に展示したり、延命寺から火はたきや防空頭巾を借り、実物を見せたりした。また、武蔵野第 6 中学校の平和事業を、牛田さんが行った。若い人たちに武蔵野市に空襲があったことを語り継ぐには貴重な機会である。今後も積極的に行いたい。

⑥戦争体験の記録

「記録する会」としては、中島飛行機武蔵病院に看護師として勤めた前田マスヨさんの話、都立中の高等家政女学校の 7 人の方の学徒勤労動員の話し合いなどに参加した。会員個人の聞き取りとしては、武蔵野女子学院の鈴木和江さん（会報 41 号に掲載）、日本歯科の A さんの中島飛行機への学徒勤労動員の体験の聞き取りが行われた。

また、録音してある聞き取りの文字ベースへの変換、延命寺に残る戦争遺物の目録作成なども一部行われた。

⑦説明版の設置

昨年、武蔵野市平和事業委員会に説明版設置候補一覧を提出した。平和事業委員会ではそれを参考に、最初の説明版が遊歩道に設置された。2 番目の説明版として関前高射砲陣地址が予定されていて、現在文案を検討中である。遊歩道は武蔵野市の管理下なので設置が容易であるが、他のところへの設置が今後の問題である。

⑧インターネットの利用

「記録する会」通信として、メールにより、会に寄せられた空襲や戦争遺跡関連のイベント情報を送っている。現在は会員のみで、幹事を含めると 42 人の方に情報を送っている。この 1 年の通信数は約 22 通である。

ホームページは、<http://www.geocities.jp/kirokusurukai> を作成して、会報の目次や、関連の新聞記事を掲載している。

⑨不十分だった項目

1)学習会、講演会

昨年は公開学習会を3回開催したが、今年はい度も開催できなかった。パネル展示内のギャラリートークとしては、展示期間中に各1-2回行われた。

2)都営管理事務室棟（旧中島変電室）の保存、活用

昨年、緑町自治会と連名で保存要望書を東京都に提出したが、今年はい具体的な行動はやられていない。緑町の都営アパートの旧建物撤去は本年度行われているが、中島の建物は今年度の撤去は行われないう。武蔵野市も跡地の公園化の要請をすすめているが、進展は見られていない。

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会・2011年度会計報告

自 2010 年 11 月 1 日

至 2011 年 10 月31 日

収 入 の 部	
科 目 ・ 摘 要	金 額
前年度からの繰越金	1,338,391
会費収入	228,000
寄付	84,700
証言集売上	3,000
事業収入※1	32,200
その他※2	7,038
本代収入	850
報告集売上	0
収 入 の 部 合 計	1,694,179

支 出 の 部	
科 目 ・ 摘 要	金 額
通信費	104,950
会場費	0
会議費	72,663
消耗品費	86,019
調査費	0
雑費※3	115,134
謝礼※4	20,000
口座徴収料金(手数料支出)	16,890
次年度繰越金	1,278,523
支 出 の 部 合 計	1,694,179

事業収入

※1 11月23日 総会参加費 ¥200 * 32名
06月29日フィールドワーク参加費 ¥25000

その他

※2 利子 等

雑費

※3 新パネル作成 ¥70,000
東日本大震災への寄付 ¥10,000 等

謝礼

※4 11月23日謝礼 ¥20,000

会 計 牛田 道子（印省略）

武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会・2011年度会計監査報告

帳簿の記録、計算は正確で「会計報告書」は証拠書類と正しく照合していることを報告します。

会計監査 島津 好江（印省略）

2012 年度活動方針（案）（2011 年 12 月～2012 年 11 月）

1. 具体的な方針

今期も、以下の項目を主に行なう。

1) 戦争遺跡の記録収集、保存、整備

①緑町に残る管理事務室棟（旧中島変電室）の保存

2011 年度は撤去はないとのことであるが、12 年度は定まっていない。武蔵野市も都には公園化の要求しかしていないので、保存運動を強力にすすめる必要がある。具体的には「管理事務室棟（旧中島変電室）を戦争遺跡関連の資料館に」の要望書を東京都と武蔵野市に提出することを進める。

②戦争遺跡への説明板の設置

遊歩道、関前高射砲陣地などは実現したが、俱会一処の碑、中央公園、管理事務室棟（旧中島変電室）、シラカシの木、ぎんなん橋などを検討する。

③中島地下道の調査

中央公園に残っていると思われる地下道の調査を検討する。会員より検査方法の紹介もあり、具体化したい。

④空襲体験者、中島経験者からの記録収集

手持ちの講演会や聞き取り調査の録音資料を書き起こし、文書化を継続する。

会員の戦争体験の収集も完全とは言えないので、会員の方の話を聞ける場を作る。

⑤その他

- ・都営アパートにある「モニュメント」についての調査を早急にすすめたい。
- ・関前高射砲陣地での亡くなった方の氏名の調査。延命寺の平和観音に亡くなった方の氏名を記載するために正しい氏名が必要。
- ・空襲の経験を絵として記録し、紙芝居化する。

2) 広報、啓発活動

①会報

今期も4回の発行を目指す。会報の内容改善として会員の方の投稿をふやしたい。会報への感想もいくつか寄せられているので、それらを掲載するコーナーの設置も検討する。

②フィールドワーク

武蔵野市の周辺地域を含め春と秋の年2回を目指す。

③写真パネル展示

8 月の平和事業委員会のパネル展示が定例化している。コミセンなどでの話し合いができる場をもったものを検討したい。

④講演会、学習会の開催

武蔵野地域の市民の戦争体験と中島の空襲についての公開学習会を開催したい。特に会員の方の話せる場をもうける。またパネル展示やフィールドワークで説明ができる会員を増やすためにも、武蔵野の空襲や歴史認識についての学習会、勉強会を行いたい。

⑤武蔵野市の平和の日関連行事

「武蔵野市・平和の日」制定にもとまらない、今後も 11 月 24 日周辺に各種イベントが想定される。これらのイベントに積極的に参加、協力する。「記録する会」総会と重なるので総会の日程を検討する。

⑥その他

展示パネルの充実、講演用映像の整備、配布パンフの整備、ガイドマップの作製、ホームページの充実、会員外へのメール通信など。

3) 会活動の強化と会員の力の活用

①幹事会の強化

幹事の老齢化にともない、幹事の増強、幹事以外の方の協力が必要になっている。昨年は幹事に若手の参加が得られた。新しい方の幹事会へのさらなる参加を御願いしたい。会報発行、フィールドワーク案内などにも、会員の方に協力していただいた。これを一層すすめる。

②若い方の参加を

次世代にこの活動をつなげるには、若い方の参加が必要である。若い方に関心を持ってもらえるようにする。そのためにもインターネットの利用を一層すすめる。今期は ICU の学生から独自のフィールドワークの要望などがあったが延期になっている。

③他の会との交流

「浅川地下壕を保存する会」や「調布飛行場の掩体壕を保存する会」など他団体との情報交換、交流集会なども検討する。

2. 役員構成

(代表) 川村善二郎 (副代表) 牛田守彦 (事務局長) 秋山昌文
(幹事) 阿部洋子 上野勝也 菊地公子 小峰光弘 斎藤勉 重原正三 島津好江
高柳昌久 竹内智熙 田村禮二 内藤昭雄 中野貞彦 長沼石根 原顕一 古内竹二郎
矢島淑子
(会計) 牛田道子
(会計監査) 中出律